

日中交流情報センター

発行所 日中交流情報センター

〒400-0031

山梨県甲府市丸の内2-30-5

甲府電化ビル3FTel(Fax) 055-223-3134

E-mail:jpch-zhongxin@peace.ocn.ne.jp.

[インタビュー]

甲府キリスト福音教会協力宣教師李載華さんにお話を伺いました。



Q: シンガポールから山梨にいらっしゃったそうですが、その経緯をお聞かせ下さい。

A: 私が子どもの頃（1980年代）、アジアで日本の歌やドラマが流行し、日本にとても興味を持つようになりました。シンガポールは65年に独立して発展途上でしたので、「made in japan」（日本製品）に憧れがありました。

大学に入り、私はクリスチヤンだったので、校内のキリスト教活動に参加しました。その時海外の教会について学び、自分の信じる神のために生きる決心をしました。神様に導かれ、仕事をすることになったのです。

大学卒業後、3年半日系企業で働き、その後2000年からキリスト教関係の職に就き、2001年と2002年、それぞれ一ヶ月間日本の教会の手伝いをしました。

その後2004年から2年間イギリスのスコットランドの神学校に行きました。2006年から2009年までシンガポールの教会で働き、2009年札幌に来て日本での生活が始まりました。

Q: どうして札幌だったのですか。

A: 私の所属している「国際福音宣教会」が運営している日本語学校が札幌にあります。そこで2年間日本語を学びました。その後筑波の教会で研修し、2014年3月に甲府にきました。

Q: 武田クリスチヤンセンターでは金曜日に「フライデーナイト」という活動がありますが、いつから始まったのですか。

A: 2015年のクリスマスに一週間だけ「クリスマスカフェ」を開いたところ、ユニタス日本語学校の学生がたくさん来て、楽しく過ごしてもらうことができました。留学生は普段日本人と接する機会があまりないので、日本人と留学生が集まれる場を作ったらしいのではないかと思い、毎週金曜日に「フライデーナイト」を始めることにしました。

Q: 「フライデーナイト」では、どのような活動をしていますか。

A: 各国の留学生がその国の文化を紹介したり、映画を上映したり、クイズやゲーム、卓球をして遊んだりしています。日本人と外国人がこの場で交流してほしいのですが、コーヒーを飲んだりお菓子を食べたりしてくつろいでもらえるだけでもいいと思っています。

Q: 一般的に言って、山梨の人はあまり海外の人に接する事がないので、このような場所があるのはいいことですね。クリスチャンセンターでの活動はどのように皆さんに知らせているのですか。

A: 「フライデーナイト」はフェイスブックでお知らせしたり、皆さんのが友達を誘って来てくれます。

Q: シンガポールは多民族国家ですが、日本人にとって、異なる文化に接する時どうしたらいいかが参考になると思います。この点についてどうお考えですか。

A: シンガポールは多民族国家ですから、異なる民族には異なる文化や習慣があります。最も多い中華系でも、福建や広東など出身は様々で、言葉や習慣も違います。違いがあるのを承知しているので、お互いを受け入れ尊重し合っています。ですから一つのやり方にこだわる（固執する、絶対的）いうようなことはありません。

日本は全体が文化的にはだいたい同じなので、守るべき習慣や決まり事が多く、しかもその多くは成文化されていません。言葉について言えば、日本は、例えば「俺」「私」という言葉の意味は同じですが、「俺」は使えない場合もあります。こういうことは教科書には書いてありません。日本の文化には決まり事が多く、細かいと思います。それが悪いわけではありませんが、外国人にとっては慣れるのに時間がかかります。

Q: シンガポールは多民族国家ということで（中華系およそ 75%、マレー系およそ 13%、インド系およそ 9%、その他およそ 3%）、例えば隣人がインド人とか中華系というのは当たり前なんですね。

A: シンガポールでは政府が建てた高層の集合住宅に国民の 8 割が住んでいます。政府は各民族の人口比率に合わせて住宅を販売することで各民族が一緒に住み、お互いの理解や交流を促し、誤解や衝突を減らすようにしています。集合住宅の 1 階の公共スペースでは、大人も子供もみんながおしゃべりをしたり、ゲームをして遊んだり、ときには中華系の葬式、マレー系の結婚式等が行われています。

Q: 李さんもそういう住宅で育ったのですか。

A: そうです。今後シンガポールでこういった住宅を買うつもりです。シンガポールでは給与の 35% を年金として積み立てる制度があります（本人 20% 負担、会社 15% 負担）。退職前に家を買うのに積立金から支払うこともできます。

Q: 李さんのおじいさんおばあさんは中国から来たそうですが、李さんご自身の国籍はシンガポールですか。

A: そうです。祖父母は福建省アモイからきました。両親とは福建語、友達とは英語、英語と中国語を混ぜて使います。私は多言語の環境で育ったので、言葉に対しては敏感だと思います。例えばシンガポールのテレビは英語や中国語、マレー語やタミル語、ヒンズー語のチャンネルがあり、チャンネルを変えると言語が変わります。このような環境にいると言葉のスイッチの切り替えが早くなると思います。

Q: 李さんがいちばん得意な言語は何ですか。

A: 英語だと思います。学校教育でほとんど英語を使っていましたからでしょう。でも最初に覚えたのは中国語なので一番親近感があります。中国語で文章を書くときは中国語で考え、日本語で書くときは日本語で考えます。

なるべく頭の中で翻訳をしないようにして、だんだんとそうなっていました。でも感情を表現するときはやはり中国語（福建語）が一番しっくりします。

Q: 教会は週末が忙しいと思いますが、平日は何か活動をしているのですか。

A: クリスチャンセンターでは、毎週祈祷会、聖書通読会、青少年と大学生、社会人の交流会があります。毎週木曜日の夜は英語教室も開いていて、授業の一部の時間を使って聖書の勉強をしています。日曜日には主日礼拝を行っています。

Q: 日本人は文法が得意で会話は苦手だと言われていますが、その点について何かアドバイスはありますか。

A: 日本の学校では、あまり積極的に会話をさせず、試験のために英語を勉強していると思います。あと、カタカナを使って発音を練習しているので、日本人の英語はカタカナ英語になっています。あと、英語の勉強は中学生からでは少し遅すぎだと思います。

Q: シンガポールではごみを捨てたら罰金というルールがありますが、多民族国家で文化の違いによる摩擦が起こりかねません。それで厳しいルールが作られているのですか。

A: シンガポールがマレーシアから独立した時、国は資源もなく、非常に貧しく、民族間の衝突も起こりました。初代首相リークアンユー（李光耀）は国民が団結するしか国家が生きていく道はないと考え、強力なリーダーシップで国を統率し、そういう過程の中でいろいろなルールが作られたのだと思います。

Q: 厳しいルールのもと指導者が国を引っ張っていって、今の豊かなシンガポールがあるということですね。今でも厳しいルールは残っていますか。

A: 今でも残っています。犯罪に対する罰は日本より厳しいと思います。例えば麻薬密輸、密売、風俗産業などには厳しい罰則があります。しかし悪いことをしようと思わなければ、縛られているとは思いません。

Q: 日本のマスコミは常に（いつも）政府を批判していますが、シンガポールはどうですか。

A: 新聞やインターネットに載っていたりしますが、日本ほど多くはありません。海外での留学また仕事の経験がある人も増え、政府や国を批判する人も増えています。シンガポールは多民族国家なので、民族や宗教、政治問題に対する批判や議論には特に敏感で慎重です。

シンガポールは経済のグローバル化が著しいため、政府も努力して清廉潔白であることで、国は繁栄し、大方の国民は満足しています。また政治的中立を保ち、社会は安定し、治安もいいからこそ海外企業の投資を受けています。シンガポールは何の資源もないため、経済開放を行い、諸外国と連携協力していく必要があります。違う言い方をすれば、周りの国、世界の大國いずれとも友好関係、中立を保つことで安定した成長を遂げることが出来るのです。

Q: 日本人は神社やお寺にお参りに行ったり、結婚式を教会で挙げたり、人が亡くなるとお坊さんにお経をあげてもらいますが、クリスチャンの立場としてどのように感じますか。

A: アジア系の人はいろいろな神様を受け入れることを理性的に深く考えたり、又宗教やその宗教行事の意味を理解していないように思います。それぞれの宗教行事に関わることも、矛盾はあっても気にせず、一つの文化、年中行事や習慣としてやっているに過ぎないように思います。私の母もそうです。

Q: 甲府にいつまでいらっしゃるのですか。

A: 任期は4年で、2018年12月までです。任期が終了したら一度シンガポールに帰国します。また日本(甲府)に来る可能性もあります。

日本のクリスチヤンの人口は少ないので、私はみなさんと共に努力し、学び、成長していきたいと思っていますが、何より日本の社会、日本人と交流し、日本への理解を深めたいと思います。私は神様が日本に与えて下さった、たくさんのすばらしいものを見にすることが出来ました。ですから多くの人に神様の日本人に対する愛と祝福を知ってほしいのです。

Q: 本日はお忙しい中インタビューを引き受けてくださりありがとうございました。

A: こちらこそありがとうございました。

甲府クリスチヤンセンターにて(12月13日)

《これからの予定》

- 春節交流会 2月25日(日) 一部 「着物体験」 10:30~ (参加費500円)
二部 交流会(花寿司 12:00~ (参加費500円)
(餃子作り 13:00~)

- 料理会 (三月を予定)

《事務局日誌》

- 二胡教室 11/13,27 12/11,25 1/8
- 紹介山梨 11/6, 12/11,25 1/15
- 医療通訳研修会参加 10/28 12/16,29
- 定例会 12/30 1/8
- 生活相談その他 11/28, 12/7,
- 「英語と中国語で遊ぼう」 11/15,25 12/2 12/16
- 県民の日イベント参加 11/18.19 マーチャント、月餅販売。会報配布。
- 市民活動交流ネットワーク実行委員会 10/6 11/10 12/1 (花水木)
- 国際交流協会チャリティーワールドクリスマス(月餅販売)
- インタビュー 「甲府福音教会協力宣教師 李載華さん」

12月13日(甲府クリスチヤンセンターにて)

- 料理会 「ゴマ団子」 12月9日(南公民館にて) 参加者10名